

くじゅうの大地を黒く染める
春の野焼き

くじゅうの大地を黒く染める

くじゅうの春といえば野焼きです。黄金色の枯れ野原はあつという間に一面真っ黒になります。くじゅうでは、「春は黒」という言葉があります。それはこの野焼きによって真っ黒に焼かれた「大地の色」と言われています。昔からくじゅうでは野焼きが行われていました。

そもそも何のために野を焼いたのでしょうか？昔は牛や馬を放牧したり、牧畜のための飼料や家の屋根を作る材料として利用されていました。こうして野焼きを継続して行なうことが、生活をしていくうえでは当たり前でもあり、人々の暮らしを守るためにも必要な作業でもありました。

今もなお続いている野焼きが行わなくななると、今後どのように変化が生じるのでしようか？また必要とされる理由についても考えてみたいと思います。

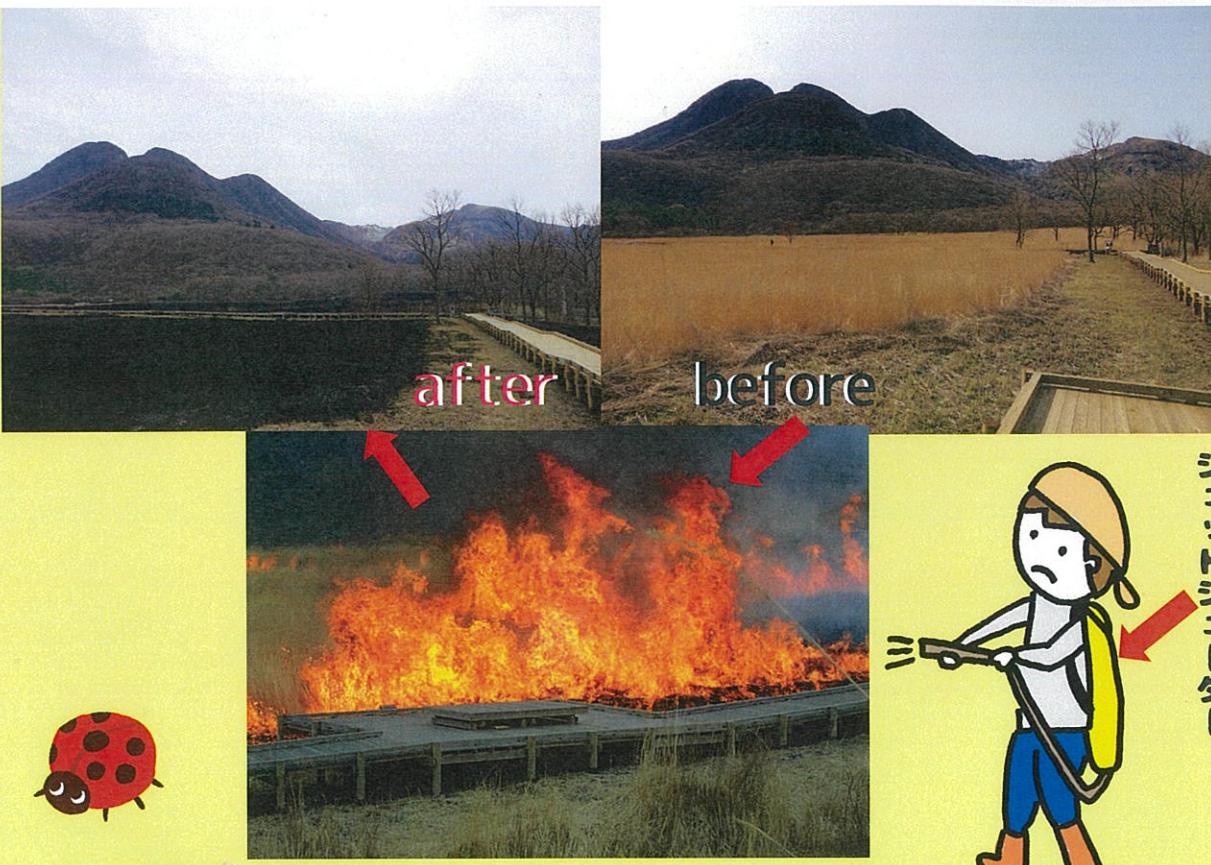
ジエットシューター

野焼きに閑わる人

野焼きは毎年多くの人達の力で行われているのをご存知ですか?

自然保護団体、牧野組合、消防団、観光に携わる人などに加えて、ボランティアの人たちなど多くの人が関わって実施できます。単に枯れ野原に火をつければいいというわけではなく、火つけ役と呼ばれる人が、風の流れを読み的確に火をつけます。これも長年野焼きに関わっているからこそできることです。そして細心の注意を払つて消していきます。また事故や怪我が起きてないよう、周りと協力して行うことがとても重要になります。

こうして今後も多くの人たちが野焼きに関わっていくことにより、くじゅうの昔ながらの景観は守られていきます。これからは、「野焼き」という伝統を若い世代へと引き継いでいくことが必要になつてきます。



野焼きのあとに咲く花々



タデ原では野焼き後にたくさんの植物が咲き始めます！なかでも代表的なのがキヌミレ！

キスミレは小さくて可愛らしい花ですが、群生で咲くととっても目立つ
黄色いお花畠のような景色が広がります！泉水山周辺などでたくさん
咲くので、春はドライブしながら鑑賞します☆

ぜひ春は野焼き後のくじゅうでたくさんの植物を見つけてみてください！



サクラソウ



ハルリントン



キスミー



リュウキンカ

**ドライブしながら楽しめる
キスミレスポット**

地図で示している場所は、
くじゅう連山周辺で気軽に
見ることができるスポット
です！



草原は野焼きが行わなくなるといずれ木々が生え始め、森林へと変化していきます。しかし野焼きを行うことで、それを防ぐことができます。

② 草原にしかいない生き物が姿を消してしまう…

森林へと変化した場合、草原という環境でしか生きられない植物や生き物が姿を消してしまいます。こうくじゅうの草原地帯では、たくさんの貴重な【植物】がいます。そういった草原にしかいない貴重な植物などの生息環境を守ることも、野焼きを行う大切な理由になります。

①『森林になってしまう…』
原は野焼きが行われなくなると
め、森林へと変化していきます。
し野焼きを行うことで、それを生
き物にしない草原に消してしま



野焼きとは、枯れ野原に火を入れる作業のことです。時期は場所によっても違いますが、タデ原湿原や泉水山は3月下旬に行われることが多いです。野焼きは夏から秋にかけていくつかの準備をした後、3月の本焼きを迎えます。まず秋に、防火線切りと/or/言つて、野焼きを行つ周辺の草を刈り、刈つた部分を焼くことで防火帯を作ります。これを行うことで、3月の本焼きの際に、火の延焼を防ぐことができます。タデ原湿原では防火線切りを行つたあと、刈つた草を寄せ草寄せ作業を行い木道への延焼を防いでいます。



★野焼きの方法や行う時期★